

2-20-1 金龍神社

金龍神社は、芝郡代が長近の法号にちなむ「金龍権現」の神号を得て、東照宮境内に勧請したのが始まりと言われる。

昭和 17 年（1942）森高山市長、東照宮社司、氏子諸氏が現在地にこの金龍神社を遷座した。

なお、神社の本殿は旧山王宮の社殿で、神門は旧松泰寺の山門を移築したものである。

平成 27 年（2015）1 月、雪害により破損したが、同年 12 月修理工事が完成した。

毎年 9 月 1 日（長近命日・8 月 12 日）に祭礼が執行される。